

# 救命アクションカードを活用した

## 教職員研修プログラムの開発

教育実践高度化専攻 児童生徒発達支援コース 養護教育実践系

山本 祐規子

本研究では、教職員が適切な救命対処行動を遂行できる体制を整えることを目的として、救命アクションカードの作成と、それを活用した教職員研修プログラムの開発、その効果を検証した。

そのために、1年目には救命アクションカードを作成するために以下の3つの研究を実施した。研究1は救命アクションカードに関する研究の動向に関してスコーピング・レビューを実施して救命アクションカード案を作成した。研究2は作成した救命アクションカード案の内容の客観性や妥当性を検討するために専門家へのインタビュー調査を行い、研究3は救命アクションカード案を学校現場での実用可能性を高めるために教職員を対象に調査を実施した。

2年目には、作成した救命アクションカードを活用し、小中学校5校で学校運営の観点から児童生徒の保健・安全への対応場面での課題として示された3つの場面（心停止・食物アレルギー・熱中症）についての教職員研修を実施した。

その結果、救命アクションカードを活用した教職員研修は、傷病発生時の知識や自信を高め、適切な救命対処行動の向上に寄与することが示唆された。さらに、救命アクションカードは学校における救命体制の標準化と迅速な対応を支える有効なツールであり、研修と併用することで教職員の救命対処行動を一層促進する可能性が示された。